

# 総務教育常任委員会資料

(令和4年11月21日)

〔 件 名 〕

ページ

- とっとり SDGsシーズン2022の実施について  
【新時代・SDGs推進課】・・・2
- 令和4年度山陰両県若手職員交流・連携プロジェクトの最終発表について  
【新時代・SDGs推進課】・・・3
- 令和4年度鳥取県パートナー県政推進会議の開催結果について  
【新時代・SDGs推進課】・・・4
- 全国知事会等の活動状況について  
【総合統括課】・・・別冊
- 各ブロック知事会等の主な動きについて  
【総合統括課】・・・6
- 原発関連交付金の資源エネルギー庁からの説明と米子市・境港市との面談について  
【総合統括課】・・・11
- 鳥取県「女性活躍 夢ある未来 Smile(スマイル)宣言」を踏まえた今後の取組について  
【女性活躍推進課】・・・12

令和新時代創造本部

## とっとりSDGs シーズン 2022 の実施について

令和4年11月21日 新時代・SDGs 推進課

昨年度初開催したSDGs 普及啓発・実践拡大強化期間となる「とっとりSDGs シーズン」について、今年度は10月28日（金）から12月18日（日）の期間で実施しています。

県民・企業・NPOなど様々な立場の方々に、シーズン中のSDGsの取組の実施や参加を呼びかけ、SDGs 先進県と評価される本県のSDGs 達成に向けた取組を、県民運動として更に強力で推進していきます。

### 《とっとりSDGs シーズン主な取組》

#### ■企業・団体・地域が主役となった多様な活動

##### (1) 県内企業・団体等による「シーズン関連イベント」の実施

シーズン期間中、県内各地で官民が連携してSDGsの達成に向けた活動を“シーズン関連イベント”として展開。

＜関連イベント（一例）＞

日本女性会議2022 in くらよし（10/28.29）、ほくえい未来トーク2022（10/29）、  
とっとりエコフォーラム（11/19）、よなご公共交通ふれあいフェスタ（11/20）など  
※関連イベントは「とっとりSDGs ポータルサイト」特設ページで紹介

##### (2) 地域が主体となった普及啓発活動

###### ①SDGs自治体ネットワークパネル展示リレー

SDGs 自治体ネットワークでの連携事業として、県内全19市町村が参画し、期間中、パネル等の展示リレーを実施。

###### ②フラッグ掲出(商店街・バードハット)

シーズン期間中、鳥取市内商店街（若桜街道、本通、駅前）及び、周辺小学校と連携して、SDGs フラッグを県庁～鳥取駅までの区間に掲出。

#### ■SDGs 先進県らしい取組の発信

##### (1) とっとりSDGsビジネスアワード

県内企業によるSDGs 推進の取組のうち、顕著な功績があったと認められる取組を表彰し、その取組をポータルサイトや各種媒体等を活用して広く発信。

※表彰式はクロージングイベント内で実施予定。

##### (2) 多様なステークホルダーによる取組の発信

①シーズン期間中、定期的に県内のSDGs 推進モデルとなる取組の動画を公開。

②プレゼント企画等を交えながら、シーズン期間中の県民によるSDGs 達成に向けた取組動画を集めイベントやSNSで発信。

##### (3) 鳥取県SDGs 未来都市イメージ動画・リーフレット制作

今年度「SDGs 未来都市」に選定されたことを踏まえ、本県のSDGs 未来都市に係るイメージ動画・リーフレットを作成し、県内外に本県の魅力とSDGsの達成に向けた取組を発信。

#### ■シーズンを締め、更なる取組促進に向けた機運醸成

##### とっとり未来都市選定記念フォーラム(シーズンクロージングイベント)

日時：令和4年12月18日（日）

会場：米子コンベンションセンター 国際会議室

内容（予定）： ・記念講演（著名人による講演会）、トークセッション

・とっとりSDGs ビジネスアワード表彰式

・とっとりSDGs 子ども伝道師・アンバサダー取組成果発表 等



## 令和4年度山陰両県若手職員交流・連携プロジェクトの最終発表について

令和4年11月21日  
新時代・SDGs推進課

鳥取県及び島根県の若手職員が連携し、両県共通の課題を解決するための政策立案プロセスの実践を通じ、互いに交流を深めるとともに、課題解決の糸口を見つけ両県がともに発展することを目的とした山陰両県若手職員交流・連携プロジェクトの政策提案の最終発表会を以下のとおり開催しました。

- 1 日 時 11月2日(水) 午後2時10分から3時10分まで
- 2 場 所 米子コンベンションセンター 国際会議室
- 3 出席者 山陰両県若手職員交流・連携プロジェクトメンバー 8名(20・30代の職員を両県から4名ずつ)  
鳥取県：亀井副知事、令和新時代創造本部長、地域交通政策課長等  
島根県：松尾副知事、政策企画局長、交通対策課長等  
ファシリテーター：中村純二氏(一般社団法人ツワモノ代表理事)  
専門家人材：加藤博和氏(米子工業高等専門学校教授)

### 4 プロジェクトの検討課題・提案内容・意見

#### (1) 検討課題

中山間地域における生活交通の維持・確保

#### (2) 提案概要

ターゲットを後期高齢者(75歳～90歳)に絞り、それらの者の移動に対するニーズや思考を分析した上で、公共交通の利用に向けた隘路(自宅からバス停までの移動手段がないこと、バス停までの距離が遠いこと等)の解消を目指したものの。

#### 提案事業① パーソナルモビリティの利用促進助成：シニアカーの購入(レンタル)補助金

・高齢者が自由に移動できるパーソナルモビリティとして、シニアカーの購入(レンタル)費の助成制度を創設。

#### 提案事業② バス停周辺環境整備事業：駐輪場の設置

・自宅からバス停へのアクセス性向上のため、バス停周辺の公民館にシニアカーの駐輪場を整備し、パーク&ライドによりバス利用者増加を図る。

#### 提案事業③ 中心地におけるライドシェアリング事業

・バス停から目的地までの移動性を確保するため、地域中心地のバス停にシニアカーを設置しライドシェアを展開。

#### 《主な意見》

(亀井副知事)

- ・事業提案の背景等が詳細に積み上げられた内容となっていて論理的にまとまっている。
- ・シニアカーを使う場合の安全性の確保や、悪天候の場合への対応、ライドシェアリングにおけるシニアカーの整備・管理主体をどうするかといった制度設計についても検討する必要がある。

(松尾副知事)

- ・「中山間地の生活交通」について検討する際の出発点となる高齢者への優しさが感じられる提案だった。
- ・自宅とバス停の間だけでなく、バス停から降りた先の目的地までの移動手段としてシニアカーを用いる発想が斬新である。
- ・シニアカーの保管場所については、公民館に整備するのは難しい場合もあるので、商業施設を活用するなど、工夫の余地がある。

(ファシリテーター：中村純二氏)

- ・課題解決には、現場にある一次情報を調べるのが大切だが、今回のプロジェクトでは、現地調査を行い、そこで把握した住民の声などを政策提案の根拠に含めていてよかった。
- ・プロジェクトを進める上で、メンバー各々が自分の役割を考え、互いに意見を言い合えるチーム作りができて、政策提案という成果だけでなく、過程で学んだことも多くあったと思う。

(専門家人材：加藤博和氏)

- ・今回のテーマでは、デマンドタクシーなど、割と事業者目線になりがちだが、住民目線に立って、「誰一人取り残さない」というSDGsの視点が意識された画期的な提案だったと思う。

### 5 今後の対応

提案内容は、両県の担当所属において、来年度予算への反映等を検討する。

## 令和4年度鳥取県パートナー県政推進会議の開催結果について

令和4年11月21日  
新時代・SDGs推進課

「県政は県民のパートナー・地域のパートナー」であることを原点として平成25年に制定した鳥取県民参画基本条例の基本理念に基づき、県政への県民意見の反映や県民と県政との協働のあり方について議論を深め、施策の改善を検討するため、令和4年度鳥取県パートナー県政推進会議を開催しました。

- 1 開催日 令和4年11月5日（土）午後1時から2時45分まで
- 2 場所 災害対策本部室、西部総合事務所災害対策室、その他オンライン参加
- 3 出席者 委員10名（名簿のとおり）、知事、令和新時代創造本部長
- 4 テーマ ポストコロナ時代の新しい鳥取県の創造

### 5 主な意見等

- ・鳥取県の良さは自分で体験した上で振り返りを行うことで実感になる。県外から進学を機に鳥取へ来た学生に鳥取での就職を繰り返し強調するよりは、定期的にアンケート調査を行うなどすることで学生自身が鳥取の良さに気づくことが大事ではないか。（高井委員）
- ・県内の特に学生世代の鳥取への愛が希薄な感じがする。鳥取愛を増やす取り組みをした方がよい。10代から20代の転出の割合が増えている一方で30代以降は転入が増えているのに着目するほか、高齢者も支えられるのではなく支える側に回るといった考え方でアプローチも必要ではないか。（奥内委員）
- ・子ども食堂、フードバンクとも収入を得るところがないため運営資金が毎年綱渡りであり、民間の力だけでは持続可能な運営はできないと感じているので、安定した行政支援が必要。（辻委員）
- ・原料の高騰、円安で県内の事業者、経営者は先行きが見えない状況ではあるが、円安をいい機運ととらえてコストの見直しを図るなどの取組を促すような施策・補助金を検討してほしい。また、インバウンドの早期再開をしていただきたい。（川上委員）
- ・鳥取県に旅行に来てもらうための県独自のキャンペーンをしてはどうか。また、現在行われている全国割が終了した後も継続実施してほしい。（水沢委員）
- ・高校の課題研究で鳥取県の観光地のPRについて研究しているが、初めて知るところも多い。学校の配布物で観光地について紹介すれば興味を持つ人が増えるのではないか。（伊吹委員）
- ・観光とワーケーションは全く別物と考えている。人を呼ぶ資源になるものが鳥取にはたくさんあり、観光では行かないような場所にもたくさん人が呼べる。来てくれた人とさらに繋がりを深めていくことができるような場所が県内各地にできると交流が深まり移住定住につながっていく。（貝本委員）
- ・省エネルギーの取組は、大企業だけではなく中小企業やもっと下の裾野まで広げていかなければいけない。また、再生エネルギーを高めることも重要だが、自分たちが使っている電気の賢い省エネ、スマート省エネを特に若い人たちには自分で考えて進めていってほしい。（西村委員）
- ・もっと鳥取の暮らし方、鳥取で暮らすとこんな生活になるというのを発信してほしい。空き家や耕作放棄地の利活用の面でも農業は相性がいいと思うので、農村ならではのことができるのではないか。（前田委員）

### 6 今後の予定

会議でいただいた意見や提案について、県施策への反映を検討する。



## 令和4年度 鳥取県パートナー県政推進会議 出席者名簿

[会場ごとの50音順]

会場	氏名	所属等
東部	遠藤 由美子 (えんどう ゆみこ)	公立鳥取環境大学 環境学部 学部長、教授
	奥内 美帆 (おくうち みほ)	公立鳥取環境大学 環境学部 3年
	高井 紫保 (たかい しほ)	公立鳥取環境大学 経営学部 3年
	前田 利幸 (まえた としゆき)	まえた果樹園 園主
西部	辻 洋江 (つじ ひろえ)	子ども食堂ネバーランド 副代表
	水沢 滯音 (みずさわ みお)	米子南高等学校 2年
その他 (オンライン)	伊吹 日向子 (いぶき ひなこ)	鳥取西高等学校 2年
	貝本 正紀 (かいもと まさき)	株式会社アマゾンラテルナ 鳥取大山オフィス 代表・総合プロデューサー
	川上 敬之 (かわかみ たかゆき)	鳥取県商工会青年部連合会 会長
	西村 孝一 (にしむら こういち)	山陰エコライフ研究所 副代表

(御欠席の委員)

氏名	所属等
井上 可奈子 (いのうえ かなこ)	ゲストハウスてま里 代表
大下 志穂 (おおした しほ)	こっちの大山研究所 代表
白石 博昭 (しらいし ひろあき)	株式会社しらいし設計室 代表取締役
田栗 幸人 (たぐり ゆきと)	鳥取県老人クラブ連合会 若手委員会委員
辻 昌宏 (つじ まさひろ)	R B T C株式会社 代表取締役
黄 龍也 (ふあん よんや)	在日本大韓国民団鳥取県地方本部 団長
前田 向日葵 (まえた ひまり)	鳥取西高等学校 2年
水野 由久 (みずの よしひさ)	鳥取方式®の芝生化全国ネットワーク 会長

## 各ブロック知事会等の主な動き

令和4年11月21日

総合統括課

各ブロック知事会並びに隣県知事会が開催され、新型コロナウイルス感染症対策や地域公共交通の維持・確保など各府県に共通した課題について意見交換が行われましたのでご報告します。

### 1 令和4年度第2回中国地方知事会議

- (1) 日 時 令和4年10月21日(金) 12:20～14:40
- (2) 場 所 かも福オンプレイス(山口県山口市)
- (3) 出席者 平井知事、島根県知事、岡山県知事、広島県知事、山口県知事
- (4) 内 容 国への提案要望に関し、9項目の共同アピールを採択するとともに、新型コロナ感染拡大防止と社会経済活動の両立を目指して行動宣言を採択した。

【中国地方知事会新型コロナウイルス感染症対策本部行動宣言(別紙参照)】

※同日16時からの「令和4年度第2回中国地域発展推進会議」では、経済界関係者(中国経済連合会、各県商工会議所連合会)とカーボンニュートラルの実現に向けた取組について意見交換を行った。

### 2 第111回 近畿ブロック知事会議

- (1) 日 時 令和4年10月25日(火) 14:30～16:30
- (2) 場 所 奈良春日野国際フォーラム 薨(いらか)(奈良県奈良市)
- (3) 出席者 奈良県知事、三重県知事、滋賀県知事、京都府知事、兵庫県知事、和歌山県知事、亀井副知事、福井県副知事、大阪府副知事、徳島県副知事
- (4) 内 容 地域雇用に係る意見交換を行うとともに、国への提案要望に関し、広域周遊観光の推進等3項目の新規提案を行うことなどを確認した。

### 3 令和4年度鳥取・広島両県知事会議

- (1) 日 時 令和4年10月31日(月) 14:00～15:10
- (2) 場 所 東広島芸術文化ホールくらら(広島県東広島市)
- (3) 出席者 平井知事、広島県知事
- (4) 内 容 新型コロナ対策やローカル・トランスフォーメーション、地域公共交通の維持・確保と活用連携について意見交換を行い、合意事項を取りまとめた。

【令和4年度鳥取・広島両県知事会議合意事項(別紙参照)】

### 4 第148回 関西広域連合委員会・関西広域連合議会11月臨時会

- (1) 日 時 令和4年11月3日(木)(委員会) 11:00～11:50(議会) 13:00～18:00
- (2) 場 所 NCB会館(大阪府大阪市)
- (3) 出席者 平井知事、和歌山県知事、徳島県知事(議会のみ出席)、滋賀県知事(議会のみ出席)、京都府副知事、滋賀県副知事、大阪府副知事、兵庫県副知事、奈良県副知事、徳島県副知事、京都市副市長、大阪市副市長、堺市副市長、神戸市副市長 ※議会は各府県選出議員が出席
- (4) 内 容 [委員会] 新型コロナの各構成府県市の対応状況等について情報共有を行うとともに、府県民に感染対策の徹底等と呼びかけた。【関西 次なる波への備えの充実宣言(別紙参照)】  
[議 会] 塩川議員(大阪府)、岸本議員(兵庫県)から山陰海岸ジオパーク関係の質問があり、平井知事が答弁を行った。また、本県選出の坂野議員が、ドクターヘリと広域防災について、それぞれ飯泉徳島県知事、片山兵庫県副知事に質問を行った。

### 5 第31回中四国サミット

- (1) 日 時 令和4年11月14日(月) 14:00～15:30
- (2) 場 所 JRホテルクレメント高松(香川県高松市)
- (3) 出席者 香川県知事、岡山県知事、広島県知事、徳島県知事、高知県知事、亀井副知事、島根県副知事、山口県副知事、愛媛県副知事、中国経済連合会会長、四国経済連合会会長
- (4) 内 容 新型コロナをはじめ中四国共通の課題8項目について意見交換を行い、国への提案要望としてうち7項目について共同アピールを採択した。

# 中国地方知事会新型コロナウイルス感染症対策本部行動宣言

～新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済活動の両立を目指して～

今年の夏、我が国を襲った感染の第7波は、全国各地で未曾有の感染拡大を引き起こし、中国地方においても、新規感染者数は、8月だけで約36万6千人に上りました。

現在では、この感染拡大も峠を越え、減少傾向になっていますが、BA.5を超える感染力を持つとされる新たな変異株 BA.2.75 が各地で確認されつつあり、また、この冬にはインフルエンザとの同時流行も懸念されることから、中国地方にお住いの皆様の命と健康を守るための闘いは、今後も続くものと考えられます。

さらに、度重なる感染拡大に加え、今年に入ってから、円安や地政学リスクを背景とする原油価格・物価の高騰が続いており、地域経済に幅広く多大な影響を及ぼしています。そうした中での新たな感染拡大は何としても避けなければなりません。

このため、我々中国地方5県は、市町村、県民、事業者等の皆様と力を合わせながら、引き続き、感染拡大の防止と社会経済活動の両立をより強固なものとするよう全力を挙げて取り組んでいく決意です。

今後起こりうる新たな感染拡大を抑え込むとともに、中国地方にお住いの皆様が、安心して社会経済活動を営み、より良い暮らしを享受できるよう、我々は、次のとおり行動することを宣言します。

## 記

### 1 検査・医療提供体制の確保

今後の感染拡大、そしてインフルエンザとの同時流行に備え、中国地方にお住いの皆様が、身近な場所で迅速に診療・検査を受けられる体制や、入院医療機関及び宿泊療養施設での受入れ体制、さらには症状等に応じて在宅で療養される方等への支援体制を引き続き、しっかりと確保します。

### 2 ワクチン接種の更なる促進

発症や重症化を防ぐ上で、ワクチンは大変有効であり、先月下旬からはオミクロン株に対応したワクチン接種も始まりました。今後の感染拡大に備え、このワクチンを希望される全ての方が早期に接種できるよう、我々は、全力で取り組みます。

### 3 新たな変異株による感染拡大の防止

新型コロナウイルスは、変異を繰り返しており、今後も、新たな変異株による感染の拡大が懸念されます。

そのため、我々は、こうした変異株による各地域での感染状況や対応状況等を5県で速やかに情報共有し、状況に応じて戦略的なPCR検査等の対策を講ずることにより、初期段階での抑え込みに取り組みます。

### 4 地域経済の維持・回復

我々は、コロナ禍に加え、原油・物価高騰で大きな影響を受けている企業等の事業活動の維持・継続を、引き続き全力で支援します。

さらに、今月から開始された全国旅行支援やインバウンドの本格的な再開などを契機として、国や関係事業団体等とも連携を図りながら、飲食・イベント・旅行等の社会経済活動の活性化に重点的に取り組むとともに、DXの推進など、コロナ禍で生じた変化を新たな成長につなげる取組を積極的に進め、中国圏域の経済の早期回復を目指します。

令和4年10月21日

中国地方知事会

鳥取県知事	平	井	伸	治
島根県知事	丸	山	達	也
岡山県知事	伊	原	木	隆
広島県知事	湯	崎	英	彦
山口県知事	村	岡	嗣	政

# 令和4年度鳥取・広島両県知事会議 合意事項

- 両県の力を結集し、新型コロナウイルスの第8波とインフルエンザ同時流行を乗り越え、命と健康を守るとともに、経済・社会を再生・発展へと導いていきます。
- デジタルの力をうまく活用しながら、暮らしの質の向上と産業・雇用の発展を実現するよう、地域が持つ様々な資源や特性を生かしたLX（ローカルトランスフォーメーション）による飛躍を実践し、地方を挑戦の舞台に変革していきます。
- 日本全国や地域において地方鉄道ネットワークが果たしている役割の重要性に対する理解を広げ、国やJRが担うべき責務を果たすよう連携して働きかけるとともに、地域住民や事業者等と一丸となって公共交通の利用促進を進めます。

令和4年10月31日

鳥取県知事 平井 伸治

広島県知事 湯崎 英彦



# 関西 次なる波への備えの充実宣言

令和4年11月3日

**新型コロナウイルスの感染拡大状況が明らかとなり、冬にかけて季節性インフルエンザとの同時流行に警戒が必要**です。気を緩めることなく、**基本的な感染対策の継続と積極的なワクチン接種**をお願いします。

## 基本的な感染対策の徹底とワクチンの積極的な接種

- 3密の回避、手洗いや手指消毒、効果的な換気など、**基本的な感染対策の徹底**をお願いします。  
気温が低くなり暖房を使用する機会が増えますが、使用中も**継続的な換気**をお願いします。
- マスクは適切に着脱**してください。

【マスクが必要な場面】

- 屋内：会話を行う場合、会話はなくても人と十分な距離が取れない場合
- 屋外：人と十分な距離が取れない状態で、会話を行う場合
- 発熱、咳、のどの痛みなど**体調が悪い場合は、家族を含めて通勤・通学・通園を控えて**ください。
- 企業・学校等では、**休みやすい環境整備**をお願いします。
- オミクロン株対応ワクチンの年内の接種をお願いします。特に**高齢者など重症化リスクの高い方は早めの接種**をお願いします。

- インフルエンザワクチンは、新型コロナウイルスとの**同時接種が可能**です。希望される方は早期接種をお願いします。

## 保健医療体制の重点化のための療養者支援制度への協力

- 季節性インフルエンザとの同時流行による医療ひっ迫が懸念されます。発熱などの体調不良が生じた場合は、自己検査または発熱外来等の受診など**お住まいの自治体のルールに沿って行動**してください。
- 新型コロナウイルスの有症状患者は、症状が軽快された場合でも発症日から10日間（無症状患者は検体採取日から7日間）が経過するまでは感染リスクが残存しますので、療養解除後も**高齢者など重症化リスクの高い方との接触には特に注意**しましょう。

## 感染対策と社会経済活動との両立

- 旅行やイベント・行事でも、基本的な感染対策を徹底するとともに、特に人混みや大声での会話などによる**感染リスクに注意**してください。
- 飲食店は、出来る限り認証店を選んでもいただくとともに、**会話時はマスク着用**をお願いします。



関西広域連合

## 原発関連交付金の資源エネルギー庁からの説明と米子市・境港市との面談について

令和4年11月21日

総合統括課、原子力安全対策課

令和4年11月10日(木)に保坂 伸(ほさか しん)資源エネルギー庁長官が、平井伸治鳥取県知事と丸山達也島根県知事に対し、原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金(以下、「本交付金」という。)の交付規則を改正し、原発立地県に加え、今回から周辺県に対して本交付金を交付することとしたことを説明されました。

この制度改正に伴い、原発周辺県として本交付金の交付を受けるのは、鳥取県が全国で初となる予定です。

なお、本交付金の制度改正は、かねてより鳥取県、島根県等から必要な財政措置を国へ要望していたことを受けたものです。

その説明会の後、平井知事は、直ちに伊木隆司米子市長及び伊達憲太郎境港市長と面談し、今後の対応方針等について確認をしました。その概要は、下記のとおりです。

### 1 保坂資源エネルギー庁長官と丸山島根県知事、平井鳥取県知事との対話

(1) 日時等 令和4年11月10日(木) 午後5時25分～5時55分 オンライン会議

(2) 出席者 保坂資源エネルギー庁長官、小澤資源エネルギー庁次長、丸山島根県知事、平井知事

(3) 主な内容

【交付金の概要(資源エネルギー庁の説明)】

目的: 原子力発電施設等を取り巻く環境変化(再稼働等)が立地地域等に与える影響を緩和すること

用途: 公共用施設に係る設備、維持補修及び維持運営事業、産業活性化に資する事業、福祉対策に資する事業、地域活性化に資する事業等

【今回の制度改正の概要】

○交付対象地域に、原発立地市町村のある道県に加え、当該市町村に隣接する市町村のある道県を加える。

⇒周辺県である鳥取県にも拡大

○交付上限額は、特例として今回は島根県に10億円、鳥取県に5億円とする。(今回1回限り)

【平井知事の主な発言】

○周辺地域が求めているのは安全であり、対策に要する費用については一定の財源措置がなされるべき。当方のこの意見に対し、今回の改正を設定頂くことは評価するものの、問題の解決はもっと大きなところにある。今回限りの5億円の財源措置で解決になるものではない。

○原子力災害対策特別措置法で我々周辺自治体にも原子力防災対策が義務付けられている一方で、国策としての財源措置がなされていないというギャップがあるという根本的な課題解決を国には議論してほしい。

### 2 平井知事と米子市長、境港市長との面談

(1) 日時等 令和4年11月10日(木) 午後5時55分～6時5分 オンライン会議

(2) 出席者 平井知事、伊木米子市長、伊達境港市長

(3) 主な内容

○長年主張してきた周辺地域への財政的支援に、一つの道筋がついたことは評価する。

○一方で、安全対策には毎年費用負担が生じており、周辺地域の財源問題は解決していない。今回は1回限りの交付金であり、解消に向けて、両市と県で連携し、政府に対して要望を続けていく。

○交付金は、今後3者で協議しながら、できる限り有効に活用していく。

### 3 交付金に係る今後の対応方針案

○地元2市と県で協議体を設置し、2市の意向をよく伺いながら、できる限り意向に沿った形で交付金の有効活用ができるよう、本交付金に必要とされる地域振興計画の策定に向けた作業を進めていく。

#### <参考>これまでの主な経緯

○令和3年9月 島根原子力発電所2号炉の新規制基準合格を受け、保坂資源エネルギー庁長官が平井知事に再稼働の方針を説明

○令和4年3月 鳥取県、米子市、境港市の3者連名で中国電力株式会社へ7つの条件を前提に島根原子力発電所2号炉の再稼働に係る安全対策に了解。同時に国に対し、UPZにおける原子力防災体制のより一層の強化のための財源確保等について要請

○令和4年6月 島根県知事が本県等の要請事項についても国へ要請した上で、島根原子力発電所2号炉の再稼働について事前了解

○令和4年10月 資源エネルギー庁から交付金の対象を鳥取県にも拡大することについて説明

## 鳥取県「女性活躍 夢ある未来 Smile（スマイル）宣言」を踏まえた今後の取組について

令和4年11月21日  
女性活躍推進課

「日本女性会議 2022in 鳥取くらよし」の開催に併せ、鳥取県「女性活躍 夢ある未来 Smile（スマイル）宣言」を行いました。

今後、当該宣言を踏まえた関連施策の検討や第2次鳥取県女性活躍推進計画の改訂等を行い、本県における女性活躍に向けた取組を一層促進していきます。

### 鳥取県「女性活躍 夢ある未来 Smile（スマイル）宣言」

- **積み上げてきた男女共同参画への理念を次世代につなぎ、世代を超えた持続可能なジェンダー平等の取組へ深化・促進します。**  
現役世代と高校生、大学生など若者世代との交流や、若者世代の自主的な活動を支援
- **女性の活躍、経済的自立を支える環境づくりを進めます。**  
女性の就業・定着・賃金アップの支援、ライフステージに応じた女性のキャリア教育等の充実
- **全ての働く人の仕事と生活の調和が図られる環境整備を進めます。**  
テレワークや在宅勤務等の誰もが働きやすい環境づくりの推進、育児や介護に伴う休暇取得の推進、家事分担意識の醸成
- **パートナーシップ（ネットワーク）で支え合う地域社会づくりを進めます。**  
官民連携による孤立・孤独対策、地域全体で子育てを支える環境づくり
- **女性や子ども、家族を守る安心・安全な社会づくりを進めます。**  
性暴力被害等の防止や相談体制の充実、男女共同参画の視点からの防災・復興
- **未だ根強く残るアンコンシャスバイアス（無自覚の差別意識）の解消を進めます。**  
社会各層で自覚されずに人々の言動に影響する固定的役割分担意識の解消

令和4年10月27日 鳥取県

#### 【取組(予定含む)】

令和4年11月1日 女星活躍とっとり会議幹事会

〈主な意見〉

- ・今までの取組を次世代に繋ぐことは大切なこと。
- ・経済団体や県の事業についてお互い連携を図り協力して実施したい。
- ・キャリアを積む女性への支援と育休復帰するなどの女性就業の定着に向けた支援が必要

令和4年11月～ 当初予算等に向けた関連施策の検討等

令和5年度 女星活躍とっとり会議開催・第2次鳥取県女性活躍推進計画の改訂

#### 【参考】「日本女性会議 2022in 鳥取くらよし」

(1) 開催日 令和4年10月28日(金)・29日(土)・30日(日)

(2) 場 所 倉吉未来中心(主会場)

(3) テーマ Smile in くらよし ～だれもが共に笑顔になれる夢ある未来～

(4) 概要

1日目：分科会等(テーマ：①SDGs(高校生企画)、②性の権利と健康、③IKIGAI(いきがい)くらよし版人生会議、④女性の活躍、⑤防災、⑥子どもの権利、⑦ネットフォーラム、⑧ジェンダーバイアスフリーの家事参画、⑨健康とまちづくり)

2日目：開会式、全体会、閉会式

○全体会(トークショー)誰もが生き生きと輝くために、私たちが考えるジェンダー平等  
出演：上地雄輔(俳優/タレント)、秀ノ山親方(元大関琴奨菊)

○記念シンポジウム(学生主体のシンポジウム)弱者が弱者のままで尊重される社会とは？  
出演：鳥大生、上野千鶴子(東大名誉教授)、山田修平(藤田学院理事長)

3日目：エクスカーション(希望者は県内各所の観光地を巡回)

(5) 主催等 日本女性会議 2022 in 鳥取くらよし実行委員会、倉吉市 後援：内閣府、鳥取県ほか